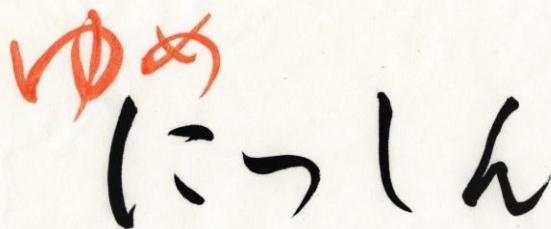


## 日 新

苟日新 まことひあらに  
日日新 ひびあらに  
又日新 またひあらに  
出典「大学」

## 日新地区だより 76号



「ゆめ・にっしん」は、平成 18 年 2 月創刊。「日日に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っています。

発行： まちづくり日新 広報部会  
福井市文京 5 丁目 1-8 日新公民館  
発行日：令和 7 年（2025 年）12 月 11 日

## 日新地区・日新公民館創立 50 周年

日新地区・日新公民館は創立 50 周年式典を迎え、9 月 21 日には記念式典を開催しました。西行市長・津田市議会議員からの祝辞、廣瀬館長による記念講演「日新の 50 年」、紙芝居や創作民話など、地域の歩みと文化を振り返る温かなひとときとなりました。11 月 3 日には藤島中学校で多くの地区民が参加できる記念イベントを実施しました。福商 JETS のチア、藤中吹奏楽部の演奏、合唱団 Smile♪の歌声が会場を彩りました。ウルトラクイズや抽選会も大盛況で、笑顔あふれる交流の場となりました。地域の皆様とともに節目を祝えたことに心より感謝申し上げます。

日新地区・日新公民館創立記念事業実行委員会 委員長 宇佐見光一氏より

**日新公民館 50 周年記念式典 9 月 21 日（日）** 式典への参列者はおよそ 70 名で厳粛な中で行われました。



受付



開式前



実行委員長挨拶



来賓祝辞



お祝いの朗詠



閉式の言葉



記念講演



アトラクション

## 創立 50 周年記念イベント 11 月 3 日（月）

イベントの様子です。参加者はスタッフ、出演者も含めておよそ 280 名でした。



福商 JETS



藤中吹奏楽部



Smile



日新ウルトラクイズ

## 日新地区の秋

公民館の玄関の菊(福井秋芳会)



天を仰ぐ皇帝ダリア



## 今年の敬老会でのアトラクション「福井童謡の会」からのメッセージ

友田 和恵

10月18日(土)日新地区敬老会第50回の節目に、私たち「福井童謡の会」がアトラクションに出演させていただきました。公民館のステージに合わせて12名のメンバーが、ピアノ伴奏と共に、「花のまわりで」「里の秋」「埴生の宿」「もしも明日が」の4曲を歌い、そして会場いっぱいの皆様と一緒に「ふるさと」の大合唱で終了。なつかしい童謡を口ずさんだり、手拍子を賑やかに合わせてくださって、大きな拍手に胸がいっぱいになりました。

福井童謡の会は昨年3月に30周年を迎え、また10月3日には内閣府より「社会参加章」を受章し、伝達式が県庁で行われました。

大変誇らしくこれからも美しい日本の童謡を大切に楽しく歌っていきたいと思います。



日新地区敬老会に出演の福井童謡の会

## 日新公民館まつり

公民館まつりは10月18日の午後と翌朝に準備し、19日午前10時より開始、およそ480名の参加で大変な盛り上がりであった



まつりの準備中「お客様はいっぱい来て欲しいなあ～」



緊張するなあ～

待ってるよ♥

真面目な開会式

おめでとう

いらっしゃいませ



放水ショー

賑やかですね

踊るぞー

当たるかなあ～

今年も終わった

## 今年の中秋の名月とスーパームーン

今年の中秋の名月は10月6日(旧暦の8月15日)でも満月ではなく、満月は翌日の10月7日であった。

中秋の名月とは1年間で月が最も

美しく見える日、旧暦の秋は7月から

9月末までその真ん中の8月15日となっているためである。

今年は11月5から6日にかけて出ていたビーバームーン(11月の満月)がスーパームーン(今年月が地球に最も近く、大きく見えた月)でした。



午後7時



午後9時



午後12時

## 小学校総合学習にいきいきライフセミナー協力

11月20日、久しぶりの快晴に誘われて散歩に出かけると、公民館南側の乾徳橋付近に20名あまりの小学生を見かけました。先頭を行く三枝さん(いきいきライフセミナー会員)にお聞きしたところ「日新小学校3年生の総合学習(見て歩きまち探検)の授業で、乾徳地区方面と文京地区方面の2班に分かれており、このチームは乾徳地区方面の三角花壇、底喰川、帰命寺、金仏様を見学して歩くのです。」と教えていただきました。



各場所での説明者や案内人はボランティアでの協力です。お疲れ様です。

## 今年の講演会「心の豊かさとファッション」

野村 勉



受付

この講演会を企画した趣旨は、現在世界中が政治も経済も不安定な時です。当然日本も福井も同じです。こんな時だからこそファッションを楽しむことで気を晴らせないかとの思いで、福井文化服装学院学校長の松原弘恵氏による「心の豊かさとファッション」の講演会を企画しました。また、ファッションというとアパレル業界を見ても、百貨店の売り場面積を比べても圧倒的にメンズよりもレディースが多いようです。参加者を募ることから、日新婦人会様の協力をお願いしての開催となりました。

講演会は11月29日(土)の午後1時15分開始、40名強の参加者で始まりました。講演者の舞台を会場の正面に向かって右側に1段高く位置し、中央に説明用の映像スクリーンを配置してみました。令和元年の講演会三条葵さん(日本髪を毎日自分で結って生活している人)による「日本の美意識」の時は舞台を中央に位置して襟足を見てもらう狙いだったことを思い出しました。



松原弘恵氏

内容は冒頭で「今日は11月29日を語呂合わせでイニクとイフクの両方があります。この日が講演会でよかったです。」から始まりました。そして留学されていたロンドンでのショーウィンドーにくぎ付けになっている小さな男の子に遭遇し、ウインドーディスプレーの大切さを思い知られ、ウンドーディスプレーが街を造っていると感じられたそうです。

服は自分の主体的な表現や思いの上にデザインや縫製の技術で出来上がるるものであり、着る服を選ぶ時はTPPPOを考えて選んでほしいとのことです。また、「外出時のファッションを考えることは、誰かに見られるときの緊張感、鏡の中の自分に問いかけることで老化防止にもつながる。」とのこと。次に福井文化服装学院の歴史を紹介され、単なる服の縫製屋さんを育てるのではなく、ファッションの中にある文化を学ぶところであると強調されました。



最後に11月16日に文化服装学院での学生さんの作品によるファッションショー「Reborn Field～光の向こうへ」が行われた様子をVTRで視聴しました。

TPPPOとは Time(時間)Place(場所)Person(人)  
Position(立場)Occasion(場合)の頭文字

参加者の方々は「よかったです。これから外出する時、時期場所やどんな人の会合などを考えていきたいです。」と話されていました。

撮影は広報部会 林健二さん



## 交通部会長は山口氏から薮内氏に

令和7年9月13日交通部会の会議が午後3時30分より行われました。冒頭で福井市役所地域交通課島田氏から



交通部会会議

「正式に第3次本格査定で日新さんさんバス運行の継続(令和7年10月～10年9月30日の3年間)が承認された」との報告がありました。「ただ、半年ごとに利



用状況のモニタリングを行い、基準状況が下回る場合には、利用促進や運行効率化などの検討をする」とも付け加えられました。また、このタイミングで名調子の語り口で全身全霊を尽くしてさんさんバス事業に

薮内氏 取り組んでこられた現交通部会長の山口満氏が個人的な事情により9月いっぱい辞任を申し出されました。長い間お疲れ様でした。特にコロナ感染症により乗車人数の激減期での運営は大変でした。そして後任として新会長に薮内謙一氏が着任することになりました。

## 悪天候の中での今年最後の一斎清掃

今年最後の一斎清掃は11月9日の午前9時半に予定されていた。朝から風が吹く中、雨も降っていたので中止であろうと思っていたが、前日に環境部長から「写真を撮りに来てや」と言われていたので、川岸に様子を見に行くと、なんと環境部会員とまちづくりの有志の方々、そして小学生数名、併せて20名あまりの方々が、刈り取ったミソハギを集めた高水敷にある大きな袋を業者の方と共にクレーンで道路にあげ回収し、上里宿舎横の花壇に葉牡丹の苗植えを行っていた。悪天候の中での大変な作業である。早速、家からカメラを持ち出して記録した。本当にお疲れ様でした。





業者と共に一斉清掃

今年のミソハギの管理では温暖化の影響で背丈が伸びて刈り取りに大変苦労したことである。次回はまつり一週間後ぐらいに 1/2 刈る方法を試みたい。また、藤中ボランティアの参加者も半減したので、枝集め作業を一斉清掃時に業者と共同で行った。結果は初めてのことでの打ち合わせも充分でなく不安であった上、雨も加わって心配されたものの、さすが業者の方々である。テキパキと短時間できれいに終わることができた。これからもこのような方法で続けられたらいいと思った。

また、日新公民館 50 周年事業があり、大変なあわただしい年でもあった。藤中での記念事業イベントは雨降りの中寒い日になった。交通指導の担当になり、農道の辻で流れを見ていると、全く誰も歩いてこない。バスにも人影が少ない。講堂の椅子に誰もいないのではないか…開会され講堂に入ってみた。福商ゼツツ、藤中プラスバンドの演技で盛り上がって「やって良かった」に変わった。これが雨天でなかつたら申し分ない日となつたろうと残念に思った。

一人で稻穂に囲まれた農道で、藤中の校舎を見て感じたのは、こんなに近いところに自然の良さを感じる所が残っていることの感動であった。自然は大切にしなければいけないと思った。

「ゆめ日新75号」でお知らせしましたように「さんさんバス」の第 3 次本格運行が継続承認されことにより令和 7 年 10 月 1 日から令和 10 年 9 月 30 日までの3年間はさんさんバスの運行が認められました。これからも今までとおり、映画会や温泉などの企画で、「さんさんバス」に親しみを持つ



アカデミアンホテル

てもらい、「乗ったくなる」バスを目指し、利用者数増加に努めて行きたいと思います。将来において、平均寿命の延伸と少子化により高齢者の増加は必至です。それに伴い高齢者の運転免許所持者はその返納も考えるようになるでしょう。もちろん高齢者のみならず子育て世帯など日新地区にお住まいの多くの方々に買い物や通院に「さんさんバス」が交通手段の一助となれば幸いです。まちづくり日新交通部会は少しでも地域(特に高齢者)の皆さんのが日常生活の不便を緩和される事が最大の目的です。



今後とも「さんさんバス」が末長く運行継続できるよう、ご協力の程よろしくお願ひいたします。

今年もいろいろなことがありました。まず 10 月 22 日に、日本で初めて女性首相の高市総理が誕生しました。頑張っていきたいとの意気込みは感じ取れますか、発言に慎重さが足りないような気がします。また、福井県知事においては突然の説明不十分での辞職表明、私たちのリーダーに不信感を抱きますね。



2025 年もうすぐ終わろうとしていますが、朝のニュースで「12 月から全ての医療機関でマイナ保険証が始まる」と言っていました。そこで、「2025 年の壁」を思い出しました。日本における今年はいろいろな面でデジタル化になって 20 年が過ぎ、システムの老朽化や、windows10 から 11 への移行、新たなデジタル技術の対応(かかわっていた人の定年で退職)に遅れると位置付けられている時だったです。みなさん忘れていませんか?

ところで、今年は日新地区・日新公民館創立 50 周年を迎えた年でした。9 月 21 日には「50 周年記念式典」を公民館にて、11 月 3 日には「50 周年記念イベント」が藤島中学校で開催されました。参加者は「イベント」で 280 名でした。雰囲気を盛り上げ、多くの地区民が集うことを願うならば、この年に行う全ての行事に「日新公民館創立 50 周年」と冠を付けると少しでもよかったです。尚、公民館まつりの時の参加者は 480 名です。これくらいの人が集うといいですね。日新地区で広報誌などの配布数は 1,500 程です。全体行事への希望参加人数は、500 人(公民館まつりぐらいの参加人数)ぐらいでしょう。ただ、開催場所や趣旨により参加人数も制限され一概に言えないかもしれません。「広報をどうしたらいいのか?」「どうしたら、多くの地区の人に知らせることができるのか?」「みんなで考えられるには?」、これが一番の難題ですね。